

木祖村議会だより

道しる



やぶはら高原スキー場の風景



令和4年2月10日

No 175

厄を払って、
今年も健康で過ごせますように。

木曾川河川敷でのどんど焼きの風景

令和4年 新年のごあいさつ

木祖村議会議長 古畑節行

新年、あけましておめでとうございます。

日頃より木祖村議会に対しまして温かいご協力を賜り感謝と御礼を申し上げます。

さてこの2年間、私共は新型コロナウイルス感染症に苦しめられて参りました。さまざまな行事もお祭りも、楽しい仲間との旅行も全て中止になり、賑わいも元気がなくなりました。

秋から新型コロナウイルス感染者数が減少し終息に向かうかと思いきや、オミクロン株が発生し強い感染力で広がっております。コロナは私共の生活を直撃しています。経済への打撃を最小限に留めることが出来ますよう知恵を出し合って乗り切って参りましょう。

昨年の木祖村は医療機関のご協力でワクチンの集団接種が5月から20回にわたり行われ、村民の9割が2回のワクチン接種を受けました。2月から3回目が始まります。

8月には経験したことがないような大雨で一時は、陸の孤島状態になりました。村内各地で

土砂が流れ出し一部には避難指示も出ましたが、幸い人的な被害はありませんでした。災害に対する備えをしっかりとやっていかなければなりません。

長い間の懸案であったやぶはら高原スキー場の問題も村民への意向アンケート調査、2年にわたるスキー場あり方検討会での討議、また11月に行われた住民懇談会などによって大方の方向性が見えて参りました。沢山のお客様で賑わい、木祖村の観光を引っ張っていく存在となるよう願っています。

私共議会は村政のさまざまな課題や皆様の声を村政に反映させ、より身近な議会となれるよう進んで参ります。ご意見ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

今年こそコロナが終息し災害のない平和な年でありますよう、また村民皆様方のご多幸を願って新年のご挨拶とさせていただきます。



議会運営委員長

栗屋正一

議長

古畑節行

産業経済委員長

田上芳朗

厚生文教委員長

青木 功

副議長

深澤衿子

議員

鈴木正弘

議員

安原千佳世

議員

田中寛幸

議員

大久保繁子

木祖村議会は12月9日(木)再開され、議案5件（条例制定1件、条例改正1件、木曾広域連合関係1件、補正予算2件）、陳情4件について慎重審議し、12月17日(金)散会しました。

令和3年度の一般会計補正予算（第6号）について、33,518千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,433,259千円とした。

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種体制確保事業として2,562千円、子育て世帯臨時特別給付金事業18,240千円が計上された。灯油値上がりに対する要援護者等生活援助として、住民税非課税世帯に対して1万円の商品券が付与されることとなった。又、村民のリフトシーズン券購入補助も昨年に続き実施されることとなった。

「木祖村過疎地域による固定資産税の課税免除に関する条例」は新たに制定された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」及び「木祖村過疎地域持続的発展計画」の策定に伴い、製造業、旅館業、農林水産物等販売業、情報サービス業の用に供する設備の取得等による固定資産税が申請により3年間免除される。

12月会議 議案などの審議結果（付託委員会について、厚生文教・産業経済一部省略）

番号	件名	付託委員会	審査結果	採決結果
議案第39号	木祖村過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	厚文	可	可決
議案第40号	木祖村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	厚文	可	可決
議案第41号	木曾広域連合規約の変更について	厚文	可	可決
議案第42号	令和3年度 木祖村一般会計補正予算（第6号）	厚文・産経	可	可決
議案第43号	令和3年度 木祖村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	厚文	可	可決
陳情 1	ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い	厚文	採択	可決 (意見書送付)
陳情 2	『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書採択を求める意見書	厚文	採択	可決 (意見書送付)
陳情 3	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情書	厚文	採択	可決 (意見書送付)
陳情 4	令和3年度 木祖村連合自治会 陳情書	厚文・産経	継続審査	

請願・陳情について

（陳情1）発議第4号 — 中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書 —
 （提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、内閣官房長官

（陳情2）発議第5号 — 「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書 —
 （提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

（陳情3）発議第6号 — 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書 —
 （提出先）長野県教育委員会

▼厚生文教委員会

議案第39号 木祖村過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について

- 問** 今年度対象となる事業者はあるのか。
答 議決後早急に周知し対応していく。

議案第40号 木祖村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

- 問** 出産育児一時金等の支給額はどのようになるのか。
答 上位法令に基づき金額が決定することとなる。
問 今年度の出生見込み数は何人程度になるか。
答 出生は、現在9名となっている。



議案第41号 木曾広域連合規約の変更について

- 問** 成年後見制度についてはどうか。
答 今後は内容によって広域連合でも対応することになる。今までどおり相談等は町村で対応するので、よりスムーズになるよう取り組んでいきたい。
問 成年後見制度に関連する司法書士の配置とは。
答 広域連合に司法書士を配置するというのではなく、

- 1名事務担当者を配置するとのことで進めている。
意見 自立支援協議会事務局を広域連合が行うことで、サービス等様々な面でメリットが生まれると考える。予算は不透明な部分が多く課題も多いが、相談窓口等は今までどおり町村となることから、広域連合としっかり連携し取り組んでもらいたい。

議案第42号 令和3年度 木祖村一般会計補正予算（第6号）

- 問** 子育て世帯臨時特別給付金の対象とならない年収960万円以上について説明が欲しい。
答 目安として国が示している数字である。
問 非課税世帯はどのような対応となるのか。
答 扶養の人数にもよるため一概には言えないが、年収100万円未満であれば非課税世帯となり、1人暮らしの年金受給者も同様である。
問 老人保護措置費の費用とは。
答 上松町にある木曾寮へ入所する方の生活費の公費負担

- 分である。
問 ワクチンの3回目接種の方法は。
答 2回目接種から8ヶ月経過した方に、村から通知し指定日に接種をお願いする。都合が悪い場合は変更も可能である。
意見 子育て世帯臨時特別給付金について、国の考え方で本当に活性化が図られるのか、国は根本的に考えるべきである。木祖村としてはクーポンではなく現金給付が良いと考えるが、住民への説明をしっかりと欲しい。

▼産業経済委員会

議案第42号 令和3年度 木祖村一般会計補正予算（第6号）

- 問** カシノナガキクイムシの処理はどのように行うのか。
答 虫が入り枯れている木が確認できないと発見は難しいが、急斜面の箇所は薬剤注入し、その他は伐採燻蒸処理を行う。
問 クルマ沢水路整備に関する予算の内容は。
答 沈砂池、水槽部分で緩衝をもたせ800mm×1,000mmの大きな水路とする予定としている。
問 村民シーズン券も郡内のスキー場は割引可能か。
答 可能である。
問 こだまの森迷路の修繕費の内容は。
答 今回は破損した階段の修繕をしたいが、全体的に傷みが激しく改修が必要であり人気や売り上げも高いことから、来年度当初予算にも計上したいと考えている。

- 問** 緩衝帯整備委託料の減額及び作業員の日当はどのようになっているのか。
答 整備について、自治会から直接申請があった箇所や鳥獣が住みついている箇所を優先的に整備しており実績に伴う減額である。自治会との連絡及び手続の不備などにより、整備箇所の選定については今後ルールを明確にし、しっかりと対応したい。



令和3年12月9日(木)

一般
質問

村政を問う

7 議員 8 件

鈴木 正弘 議員

1 ドローンの活用による多様性について

田中 寛幸 議員

1 木祖村では持続可能な開発目標を定めた「SDGs」にどう取り組んでいくのか

2 通学路における緊急合同点検の実施について

深澤 衿子 議員

1 唐澤村政の村づくり（人づくり）を問う

青木 功 議員

1 今後の民有林整備について

栗屋 正一 議員

1 農産物加工センターの現状を問う

安原千佳世 議員

1 地球温暖化対策の取組について

大久保繁子 議員

1 学校教育に関して次の3点を問う



鈴木正弘 議員

ドローンの活用による多様性について

答 有効性が確認されたので今後さらに研究を進める

▼ 村としては、ドローンを必要と考えているのか

問 現地踏査の際、山奥の被害状況を聞くと、現時点では山奥がどの程度の被害状態かはわからないと言われた。本村では災害の度に、復旧・復興に取り組んできた。昨今、最新型人工知能を搭載した空の産業革命ともいえるドローンを新聞やテレビ等の報道で良く聞く。インフラ整備等「農業散布・林業関係・有害鳥獣対策・松枯れ防止対策等」に活用され、行動範囲も広いことなどから調査研究にも生かされている。このドローンの活用を、村としてはどのように考えているのか。



副村長「近年建築土木・災害復旧の現状調査・農業・物流」等、様々な分野でドローンの活用がされる中、本村でも11月に一般社団法人パブリックサービスの協力により、4名の職員が研修を受けた。災害現場の現状把握には、ドローンの有効性が確認されており、今後さらに研究を進めたい。

▼ 費用対効果による分析で活性化に繋げてはどうか

問 村の行政に関わる事業計画や企画等で、専門業者等に調査を依頼するが、それを補う経費削減に繋げられる可能性があると考えられる。村として費用対効果の分析をどのように捉えるか。

副村長橋梁の点検事業等をコンサルタントに委託しているが、目視できない所は、ドローンを飛ばすことで、委託料の削減に繋がる可能性もある。今後は、経費削減の観点からも研究を進める。

▼ 資格取得への課題と費用面による職員はどうか

問 近い内にドローンの規制が厳しくなる。観光地や住宅地周辺等、人が集まる公的な場所には、免許と許可申請が必要不可欠となる。資格費用が個人・公費かの対応が問われるが、取得費用をどのように考えるのか。又、取得した職員が、就職先を変えてしまった場合はどうか。

副村長業務に不可欠な資格であれば、公費負担による取得支援も考えられる。又、複数の職員に取得させることも検討が必要と考える。



田中寛幸 議員

木祖村では持続可能な開発目標を定めた「SDGs」にどう取り組んでいくのか

答 行政、民間、住民などで目標に対する共通認識を持ち取り組んでいく

SDGsの言葉やマークを目にすることが多くなった。『持続可能な未来』私達の生活や社会、地球に存在するすべての生き物が遠い未来まで営み続けられる世界を目指す17の目標と169のターゲットは目標達成の具体的な行動内容を表している。

問 村としてどう取り組んでいくか。

総務課長 自治体レベルの取り組みには2通りあり、1つ目は国の方針を受けて自治体の責務として推進する義務的・包括的なもの、2つ目は自治体が固有の条件を踏まえて推進する自主的・選択的なものになる。

義務的・包括的なものについては、第二次ひと・まち・しごと創生総合戦略の取り組みに反映している。

また、自主的な政策は村民の健康福祉の増進や上水の安定供給など様々な課題をSDGsの項目に関連付けて取り組んでいる。

問 村としての具体的な取り組み案は。

総務課長 第二次ひと・まち・しごと創生総合戦略の策定の際SDGsに関連付けている。環境問題、健康・福祉や経済成長、男女平等などがありますが、具体的には「保健・教育」、「成長・雇用」に対応して健康教室、介護・予防、就業者の育成、農産物加工センターを活用した商品開発等政策をより具体的に事業化している。様々な課題を事業化していきたい。

問 村を挙げての取り組みを選択したらどうか。

総務課長 村民の皆様に分担という認識を持っていただき、取り組んでいかなければならないと考える。村民の皆様が身近に取り組めるものについて今後提案検討していきたい。

現在、ゼロカーボン推進研究会を立ち上げ小水力発電について検討を始めている。温暖化対策について、積極的な取り組みを始

めた。人々が安心して生活できるような村づくりを行っていく。

通学路における緊急合同点検の実施について

問 危険箇所はどう検討を行い決定したのか。

教育次長 千葉県八街市の事故を受け、PTAの環境生活指導委員会から提出のあった危険箇所のうち、対策必要要望箇所6ヶ所を学校と事務局で現場状況を確認し決定した。国土交通省飯田国道事務所等関係者と緊急合同点検を行った。

問 危険箇所の6ヶ所はどこか。

教育次長 ①栗屋バス停付近、②出口の坂の村道脇水路防止柵、③五反田橋のカーブ、④笹川橋からねぎや地区への村道河川側、⑤深渡バス停付近、⑥国道鳥居トンネル出口から葛沢までの歩道

問 完成予定や対策の見通しはどうか。

教育次長 実施予定箇所は国道と県道それぞれ1ヶ所、村道で3ヶ所。ポストコーンの設置や警戒標識、路側帯のカラー舗装等を検討中であり、国道は完了した。残り1ヶ所は道路形上対策が難しいので、学校から子どもに安全指導を行った。

問 他の危険箇所はどうか。具体的に神社の上、冬は暗い見通しが悪く防犯上危険のうえ凍ったりするので対策を。また、第二分団詰所横出入口のカーブミラーの下に追加できないか。

教育次長 他の危険箇所へは子どもたちへ安全指導は毎年行っている。議員指摘の箇所は今後対策について検討する。地域の皆さんにも危険な場所があったら連絡いただき、もしその場所で子どもたちが遊んでいたら声がけ等見守りにもご協力いただきたい。



深澤衿子 議員

唐澤村政の村づくり（人づくり）を問う

答 来年は活気を戻す施策を考えたい

今回は唐澤村政2期目のラストスパートとなる来年度に向けての村づくりは人づくりの部分を考え質問することにした。

問 コロナ禍の2年目となる今年度、住民サービスと云えることは？

副村長 1番はワクチン集団接種を実施したことである。最初は混乱を招き住民の皆さんにご迷惑おかけしたが、工夫を重ね、円滑に進める体制を構築できた。職員の気配りも要所要所にあり、村民の方から喜んでいただけた。多くの人員を動員して20日間実施した。

問 3月の一般質問にもコロナで我慢が続く住民に、村として寄り添う行政をお願いしてきた。来年度に向け、どう取り組むか検証をしっかりと予算に生かす事業を考えていただきたいが。

副村長 まさにコロナ禍のなか住民の皆さんが生きがいや楽しみを感じるような行事もできず、残念である。来年度は村民主体の行事を復活させ、活気を戻す施策を考えてい

きたい。

問 今年こそ花火はあげてほしい、と申し上げたので実施いただき素直に御礼申し上げる。昨年より感染状況が落ち着いてきたが村内での行事が中止となり運動会の観覧が人数制限された。村は日曜画家の村として2年連続展覧会を実施できたのだから、社協のボランティアのようにきちんと参加の条件をつけて観覧を認めることはできなかったか。村長はどう思われたか？

村長 村民に我慢させて申し訳なく思っている。感染者を出した村として慎重になった。

- ・村外から通勤している職員について
 - ・「まめのわ」の利用者状況と公共交通の検討は？
 - ・スキー場アンケートの回収50%の捉え方
 - ・村に対しての関心を高める努力をどう考えるか？
- を質問しました。



青木 功 議員

今後の民有林整備について

答 森林経営計画に基づき適正に進めていく

問 森林は国土保全、水源の維持、地球温暖化防止等様々な機能を持ち合わせている。時代の変化と共に森林に対する意識の低下、又、利用価値の少ないカラマツの山を負担と思う人もいる中、森林荒廃を防ぐ為に森林整備は進められていくべきである。整備にあたっては所有者の意向確認が必要であり、相続等の問題が今後課題と考えるが。

産業振興課長 所有者不明林は存在する。相続人がいない場合も含め適正な森林経営管理事業として整備を進めていく。

問 森林環境譲与税を利活用し団地化する中で整備を進めていくが、非経済林への対応は。

産業振興課長 非経済林は林業経営が成り立たないため、基本的に防災減災等の公益的機能の維持、発揮という観点から現況を調査し必要に応じて整備を進めていく。

問 今後、当村において森林環境譲与税による整備面積は。

産業振興課長 算定の基礎となる面積は全体で3096haであるが、現在計画されている面積は522haで令和20年度に管理事業の終了予定である。

問 森林環境譲与税は山林を持たない自治体にも一律に交付される。そうした自治体は木材や木工製品の購入での使用も可能となる。森林整備により搬出された木材が利用されれば良いが、水を介して下流域との交流がある当村において直接森林整備に繋がる交流事業ができないか。

産業振興課長 名古屋市の環境局から整備により搬出された間伐材の利活用等、来年度からモデル事業としてこだまの森周辺で実施予定である。森林整備計画協定を締結し継続的な取り組みをしていきたい。



栗屋正一 議員

農産物加工センターの現状を問う

答 若い農産物生産者を育てていく

令和元年12月に加工センターが運用を開始し丸2年が経過した。木祖村の農業の6次化は体制的には一歩前へ進んだが、生産者や加工センター、道の駅の販売はどのような状況か。

問 開発について魅力ある特産品はできたのか。

産業振興課長 加工センターでの特産品の中でブランド認証品としているものが8品目ある。ピリ辛こうじ、干し芋、おやき、豆類など、魅力ある特産物が開発できていると思うが始めたばかりなので、まだまだ開発していきたい。

意見 消費者は総合評価で選ぶ。ブランド力を上げるには、特産品ができただけではだめだと思う。木祖村のイメージや道の駅のサービス、生産者、ロゴ、PR等も考えていかなければと思う。



問 木祖村では「雑穀の会」が立ち上がった。雑穀は健康に大変よいと人気が出てきている。もち麦を生産し「キラリモチ」の商品化を目指している。支援を考えて頂きたい。

産業振興課長 村としてできる支援をしたい。

問 農政懇談会でとうもろこしの今年の生産状況について

報告があった。58ha・22万本、出荷用が6万本、自家用16万本。ふるさと納税返礼品の人气が高く品薄状態である。また加工センターでは真空パックの製品、粉にすることによりコーンスープの材料に大口の販路が開ける等収益をあげるにはとうもろこしの生産増が不可欠である。そこで筑北村では、地域おこし協力隊（3名）で生産し成果が出ていると聞いた。木祖村でもこの様な取り組みができないのか村長に伺う。

村長 とうもろこしが良いということは重々承知している。高齢化で生産者が減少している中で一人の方に大量に生産して頂き6万本できた。農業振興の一環として地域おこし協力隊にお手伝いしてもらえればと考えている。筑北村の現状を見に行き教わってきたい。大量に生産するにはトラクターやマルチ掛けする機械、消毒の機械等が必要だが、もっていてもやれる人がいない。高齢生産者にも頑張ってもらって頂き、若い人を育てていくことに村としても力を注ぎたい。参考にさせて頂く。

問 加工センターの経営について、村はどの様に見ているのか。雇用は社員1人と15人の女性が働いている。村で雇用確保ができたことはよいが、一方で人件費がかかる。また高額機材についての投資もあったようだがどのようにとらえているのか伺う。

村長 現在は駅長のネットワークで販路を開拓している。経営の回復に向けて支援していきたい。



安原千佳世 議員

地球温暖化対策の取組について

答 これまでも鋭意取組んできたが今後も力を入れていきたい

問 気候変動に関する国連のCOP26が閉幕したが、今回はこれまでになく注目された。木祖村は昨年3月に気候非常事態宣言を発信するとともに役場内に地球温暖化対策推進本部を立上げ取組んできている。①推進本部の取組状況はどうか。②令和3年度予算に計上した可燃ごみの削減措置の実績はどうであったのか。給食センター生ごみ堆肥化事業、生ごみ専用袋購入に対するポイント制度の導入等があるが、これらによって可燃ごみが減少したのかどうか。③小学校の段ボールコンポストを活用した環境学習事業の成果はどうであったのか。

住民福祉課長 ①地球温暖化対策実行計画を3月に策定した。また若手中心に副村長・教育長も加えた12名によるゼロカーボン推進研究会を立上げ活動を始めた。テーマは水力発電事業の検討、公共施設のゼロカーボン化、身近な取組の3つ。水力発電については県企業局の協力を得ながら村内の水力発電の可能性について検討し課題整理に取組んできた。来年度は予備調査のための予算計上を検討している。②給食センターでは11月末までに1036kgを可燃ごみから削減し堆肥化した。また生ごみ専用袋の販売

は11月末で前年比220袋の増加となった(約2割増加)。この結果家庭からの可燃ごみは10月時点で前年比5.9t減少した。③7月6日に5・6年生を対象に環境学習を開催した。アンケートでは42名中35名が理解できたとの回答であった。段ボールコンポストについては18名が取組んだ。来年度の実施については29名が継続を希望した。

このことから一定の成果は得られたと考える。

問 プラスチックごみのリサイクル強化と排出削減に向けた新法「プラスチック資源循環促進法」が令和4年4月から施行される予定である。従来のプラスチック製容器包装に加えて、プラスチック製品(おもちゃ・ハンガー等)もまとめて「プラスチック資源」として回収することになる。温室効果ガス排出抑制のためにはプラスチック焼却は極力減らすべきである。これについての村・広域連合の取組はどうか。

住民福祉課長 新法については11月25日に環境省の説明会が開催されたとのことである。分別収集と再商品化促進に取組むが、詳細については今後詰めるとのことであり今後とも広域連合と連携して取組んでいく。



大久保繁子 議員

学校教育に関して次の3点を問う

答 保育園時における子ども社会の構築は重要と認識して取り組む

問 当村の教育現状は保育園から同じ学年の集団が中学まで進む少人数での教育が行われている。

この事から保育園時に築かれる園児間の人間関係や力関係は中学まで続くため、保育園時のあり方は重要だと思うが、園長先生や保育士の先生方はどのような共通認識を持って保育にあたっているのか?

教育長 本村では校種に関わらず少人数による教育が成されており、今後も継続されると予想される。各校種の職員は児童生徒の発達段階に応じて、校長、園長を中心に個人、チームにて、少人数のクラス集団における教育を模索しつつ積極的に行い、運営にあたっている。子ども社会の構築には指導対策として縦割り導入が効果を表している。中学校においては、おおとり祭(①お六櫛制作 ②数原祭りの継承)。

小学校においては、木祖っ子活動で意図的に異年齢集団を形成し、社会性を培うよう指導している。この縦割り導

入は保育園における合同活動でも効果はより顕著である。保育園時に築かれる人間関係、社会性は重要だと認識しており、次の4点を指導の柱として保育にあたっている。①自己肯定型 ②頭ごなしに怒らない ③子どもの行為を全面否定しない ④子どもの心に寄り添う

問 園長先生が任用職員だが、園内のガバナンスに影響はないか?

教育長 影響はない。園長を中心に良い組織を築けている。

問 教育現場におけるハラスメント対策としてどのような指導がなされているのか?

教育長 教職員には定期的に研修が行われていて、各々の心に届くような指導を心掛けている。教職員、保護者、児童、生徒への相談窓口を設置し、相談しやすい環境を整えることを目指している。

意見 子どもたちの知、情、意が正しく豊かに育つ教育の場となるように。

木祖村議会全員協議会

令和3年12月17日(金)
役場2階大会議室

協議の議題

- * **総合型地域スポーツクラブ立ち上げについて** 教育委員会
辺見元孝さんによる、総合型スポーツクラブ立ち上げの方法等の説明がありました。
- * **令和4年度当初予算編成方針について** 総務課
令和4年度は「第2次木祖村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の3年目になることから、これまでの各事業の検証を行いながら第2次総合戦略の基本施策の積極的な推進に特に重点を置く。
- * **行政懇談会について** 総務課
令和4年1/29・1/30・2/6に開催予定。→延期
- * **公共交通体系の見直しについて** 総務課
平成30年度以降利用者が減少、気候非常事態宣言の村として、温室効果ガスも含め、公共交通の見直しを検討している。
- * **藪原簡水予備水源調査について** 建設水道課
旧国道トンネル近くで地下水のボーリング調査を行い、堀削深8mから21mに水が取れる層があることが解った。
- * **菅川橋橋梁修繕工事に伴う交通規制について** 建設水道課
工事による全面通行止めが令和4年4月4日から約3週間行われる予定。
- * **スキー場の今後の方向性について** 産業振興課
スキー場は、行政懇談会やあり方検討会で3シーズンの経過観察期間を経て継続される方向となった。
- * **三大イベントの今後の方向性について** 産業振興課
令和4年度はやぶはら高原溪流釣り・はくさいマラソン・日曜画家中部日本展を計画している。



- * **名古屋市環境局の取り組みについて** 産業振興課
名古屋市（環境局）は、ローカルSDGs推進として上流域の自治体と連携し森林整備のモデル事業を実施したいと考えている。
- * **ワクチン追加接種について** 住民福祉課
3回目のワクチン接種について、2月24日から開始する。(回覧板で周知)
- * **若手職員によるゼロカーボン推進研究会の活動について** 住民福祉課
若手職員により発足され、今後水力発電事業、ゼロカーボン化、エコポイント事業の拡充について検討する。
- * **幸せテラスまめのわ利用状況について** 住民福祉課
徐々に利用者が増えている。マシンも順調に利用されている。
- * **幸せテラスまめのわ周辺緑地整備事業について** 住民福祉課
周辺の整備が計画されている。(マレットゴルフコース造成・芝・ウォーキングコース他)
- * **マイナンバーカードの保険証利用について** 住民福祉課
マイナンバーカード健康保険証の利用登録が、セブン銀行のATMでも申込ができるようになった。

中学校ゲスト講話

令和3年11月17日(水)
木祖中学校 体育館

中学生の皆さんに議会の役割を知ってもらうために、議会を代表して議長が講話をおこないました。生徒の皆さんは真剣に聴き入っていました。

主な講話内容

木祖村議会について 社会参画ってなんの事？ 私の小中学校時代

講話のあと、生徒の皆さんが疑問に思った事をまとめて、質問が届きました。質問事項について、全員が個々にその質問について考え、理解しやすいように回答用紙に記載し、木祖中学校へ送りました。

- 主な質問**
- ・村議会の仕事の中で一番大切なことは？
 - ・議員はいつ村民の声を聞いているのですか？
 - ・議員が、誰がどんな考えを持っているか知りたい
 - ・これから木祖村をどのようにしていきますか？

議員全員が真剣に回答したつもりですが、まだ分かり難い点が有れば再度、お声をかけていただければ幸いに思います。



木祖村議会は1月21日(金)再開され、議案2件(条例改正1件、補正予算1件)について慎重審議し、原案通り可決し、同日散会しました。

令和3年度一般会計補正予算(第7号)について121,177千円を増額し、総額を3,554,436千円とした。

村民の家計支援と村内事業者への支援を目的として、プレミアム商品券の発行、コロナ対策事業者支援金事業、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、住民税非課税世帯等に対する臨時的給付措置、子育て世帯臨時特別給付金事業等の補正予算について審議しました。

《主な歳出》

- ・社会福祉総務費：住民税非課税世帯等臨時福祉給付金事業 34,050千円
- ・児童福祉総務費：子育て世帯臨時特別給付金事業 16,770千円
- ・商工振興費：プレミアム商品券発行事業 21,960千円、
コロナ対策事業者支援金事業 7,000千円
- ・土木費：村道冬期管理費(除雪等) 34,751千円
- ・防災諸費：避難所用空気清浄機 2,640千円

1月会議 審議結果(付託委員会について、厚生文教・産業経済一部省略)

番号	件名	付託委員会	審査結果	採決結果
議案第1号	こだまの森設置および管理等に関する条例の一部を改正する条例について	産経	可	可決
議案第2号	令和3年度木祖村一般会計補正予算(第7号)	厚文・産経	可	可決

3階議場 常任委員会連合審査

議案第1号 こだまの森設置および管理等に関する条例の一部を改正する条例について

問 料金設定について説明願う。

答 記載の金額はハイシーズンに用いる上限の料金で、オフシーズンは記載よりも安く料金設定することになる。

問 こだまの森の駐車場及び公衆トイレの協力金導入の話はどうなっているのか。

答 今のところ具体的な話はないが、今後検討をしていく。

問 こだまの森のフリーWi-Fiの環境について伺う。

答 現在は管理棟のみ利用可能で、今後は宿泊施設で利用できるよう運営会社と検討中である。

問 村民割引料金とあるが、何か考えはあるのか。

答 何らかの割引を行うことで管理会社と検討中である。

議案第2号 令和3年度木祖村一般会計補正予算(第7号)

問 避難所用の空気清浄機12台は、どのメーカーを考えているのか。

答 パナソニック製の商品で「ジアイーノ」を購入する計画である。

問 今回購入後、避難所用の空気清浄機を増台していくのか。

答 移動が可能なので当面は避難所開設状況に応じて効率的に運用し、メンテナンスについても村が適正に行う。

問 低年齢の5~11歳のワクチン接種について伺う。

答 3月以降に集団接種ではなく、個別接種での実施を奥

原先生と検討中である。

問 3回目のワクチン接種で、副反応の心配がされるがどううか。

答 2回目の接種と同じような副反応が起こる可能性が高い。ファイザーとモデルナの交互接種について安全性は確保されている。

問 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業の対象世帯数について、他町村の数字は把握しているのか。

答 公表されていないのでわからない。

令和3年 木曾広域連合議会 第4回定例会の報告

令和3年11月30日(火) 令和3年木曾広域連合議会第4回定例会が開催されました。

本年度は郡内2町村での議会議長選挙に伴い、議長選挙、副議長選挙、議席の決定、各常任委員の選任、議会運営委員の選任の後、工事請負契約の締結2件、条例の廃止1件、令和3年度の2会計による補正予算2件の5議案と、同意案件1件を審議し原案通り可決、同意されました。

木曾広域連合議会 正副議長、各常任委員長名簿

議長	山崎 隆二氏 (南木曾町)	副議長	永井 嘉男氏 (上松町)
議会運営委員会 委員長	岩佐 孝和氏 (大桑村)	総務常任委員会 委員長	松井 淳一氏 (木曾町)
経済観光常任委員会 委員長	鈴木 武氏 (大桑村)	福祉環境常任委員会 委員長	上田とめ子氏 (木曾町)

* 監査委員の選任 近藤 隆氏 (南木曾町) 同意されました。

提出議案等

- 議案第24号 **工事請負契約の締結について**
木曾文化公園ホール天井等改修工事
357,500千円 株式会社岡谷組木曾営業所
- 議案第25号 **工事請負契約の締結について**
木曾文化公園空調設備等改修工事
301,180千円 岡谷・倉本特定建設工事共同企業体
- 議案第26号 **木曾広域連合クリーンセンター可燃ごみ処理施設解体基本条例の廃止について**
木曾クリーンセンター可燃ごみ処理施設解体終了に伴い、設置が不要となるため基金条例を廃止
- 議案第27号 **令和3年度 木曾広域連合一般会計補正予算(第3号)**
補正額 △8,788千円 補正後の予算総額 4,507,156千円
- 議案第28号 **令和3年度 木曾広域連合介護保険特別会計補正予算(第3号)**
補正額 0千円 補正後の予算総額 4,142,752千円
- 同意第1号 **監査委員の選任について同意を求めることについて**
指名 近藤 隆氏 (南木曾町)

令和3年 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会 11月定例会の報告

令和3年11月8日(月) 塩尻総合文化センター講堂で開催され以下の議案が可決・同意されました。

提出議案

- 議案第1号 **令和2年度 松塩筑木曾老人福祉施設組合一般会計歳入歳出決算認定について**
(歳入) 4,824,219千円 - (歳出) 4,602,601千円 = (歳入歳出差引額) 221,618千円
次年度への繰越財源 0千円 実質収支額 221,618千円
- 議案第2号 **監査委員の選任について** 高砂 礼次氏 (再任・塩尻市)
- 議案第3号 **公平委員の選任について** 牛山 雅恵氏 (新任・塩尻市)
- 議案第4号 **令和3年度 松塩筑木曾老人福祉施設組合一般会計補正予算(第1号)**
補正額 220,000千円 補正後の予算総額 4,470,000千円



元気発見! むらびと大図鑑



食生活改善推進協議会 代表者 奥原まさ子さん

当会は、名前が長いので、通称は「食改（しょっかい）」です。現在39名（内、男性4名）の会員で「食のボランティア」として活動しています。新型コロナウイルス感染症が拡大する前は、食を通じて村のイベントや行事に関わり活動してきましたが、昨年からは調理実習だけ行い、試食は行わず持ち帰るなど、感染予防対策をしながら工夫をして活動しています。食を通じて人と関わることで、色々な発見があり、何気ないおしゃべりで自然と笑顔も増えます。ご自身や家族の健康づくりやボランティア活動に興味がある方、お料理が好きな方、一緒に楽しく過ごしませんか。お気軽にお声がけください。



すくすく倶楽部で「クッキング」をしました。
小学生は、少し体験するだけで、
すぐ手際がよくなりますね。



会員内で講習会をしました。
密にならないように
昼の部と夜の部に分けて開催しています。



連絡先：奥原 自宅 ☎36-2102（又は、事務局 役場住民福祉課 田中 ☎36-2001）



編集後記

いつも議会報をご覧ください誠にありがとうございます。令和3年8月の豪雨災害では、本村にも大きな被害がありましたが、迅速な対応で復旧に向かっているところです。令和3年4月には、福祉施設「まめのわ」もオープンし、約10ヶ月で利用者も徐々に増え、充実した施設として運用がされています。議会としても、村民の皆様方と共に健康で安全・安心な村づくりを進めていけるよう努力いたします。議員の役割は、益々大きいと感じますので、お困りのことなどがありましたらお気軽にご相談ください。

木祖村議会報編集委員会 委員長 鈴木正弘 委員 安原千佳世 田中寛幸 大久保繁子